

問1 日本の所得税などに導入されている、個人の所得が高くなるに従って適用される税率も高くなる仕組みを累進課税制度といいます。この制度が「支払能力」に応じて負担を分かち合うという考え方にに基づき、実現を目指している状態として最も適切な説明はどれか選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)

1. 低所得者ほど所得に占める税負担の割合が高くなることで、公共施設の維持管理費を広く確保する状態
2. 所得の多寡に関わらず全員が同じ税額を納めることで、形式的な平等を保った状態
3. 消費税のように一律の税率を適用し、すべての国民が等しく公共サービスの対価を支払う状態
4. 高所得者ほど高い税率を課すことで、経済的な格差を是正する垂直的公平が図られた状態

問2 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)

1. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。
2. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。
3. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。
4. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。

問3 ヨーロッパの農業地域を分ける地理的要因について、アルプス山脈が果たしている役割に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 鳥取県公立入試 類似)

1. EU（欧州連合）の共通農業政策により、山脈を境にして北側を工業地帯、南側を専業農家地帯とする法的境界になっている。
2. 山脈の標高が高いため、山脈の北側では熱帯作物の栽培が行われ、南側では寒冷地農業が行われている。
3. 山脈が偏西風を完全に遮断するため、山脈の南側は一年を通して降水量が極めて少ない砂漠気候となっている。
4. 北側の酪農・混合農業地帯と、南側の地中海式農業地帯を分ける気候的な障壁となっている。

問4 日本国憲法の改正手続きにおいて、国会が国民に対して改正案を提案する「発議」を行うために必要な条件として正しいものはどれですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)

1. 各議院の出席議員の3分の2以上の賛成
2. 両議院の出席議員の過半数の賛成
3. 各議院の総議員の3分の2以上の賛成
4. 衆議院の総議員の3分の2以上、および参議院の総議員の過半数の賛成

問5 地方自治において、住民が自らの意思を地方公共団体の政治に直接反映させる仕組みがあります。このうち、一定数以上の有権者の署名を集めることで、その自治体のルールである条例の制定や改廃を求めることができる権利を何といいますか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

1. 直接請求権
2. 参政権
3. 請願権
4. 受益権

問6 BRICSと呼ばれる国々に共通してみられる、急速な経済成長を支えている要因についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)

1. 域内での関税を撤廃し、共通通貨であるユーロを導入することで、周辺国との自由貿易を推進している。
2. 広大な国土に鉄鉱石や原油などの資源が豊富であり、かつ多くの人口が労働力や消費市場となっている。
3. 国土が狭く資源も乏しいため、特定の高度な先端技術製品の輸出のみに産業を特化させている。
4. 東南アジアの国々を中心に結成され、地域の平和と安定を目的とした経済的・政治的な統合を進めている。

問7 かつての日本の貿易の特徴を説明した資料において、日本が「加工貿易」を中心に経済を発展させてきた背景と、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 開発途上国に技術援助を行い、現地で生産された製品をすべて買い取ることで、国際貢献と国内消費の拡大を図る仕組み。
2. 海外から輸入した原料を国内の技術で製品に加工し、輸出によって高い利益を得ることで、資源の少なさを補う仕組み。
3. 国内で不足している食料品を輸入し、余った農産物を海外へ輸出することで、国内の食料自給率の向上を目指す仕組み。
4. 他国から輸入した荷物を、加工せずにそのまま別の国へ転売することで、仲介手数料を得る仕組み。

問8 山口県にある防府天満宮などの神社で「学問の神様」として広く信仰されている菅原道真が、894年に朝廷に対して行った提案として正しいものはどれですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)

1. 仏教による国づくりを目指し、東大寺を建立すること
2. 武士の力を抑えるために、院政を開始すること
3. 唐の衰退などを理由に、遣唐使を停止すること
4. 新しい都として、平城京を建設すること

問9 鎌倉幕府の支配を盤石にした北条義時と、天下統一を成し遂げた豊臣秀吉の政策について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

1. 北条義時は源頼朝から実権を奪って執権となり、豊臣秀吉は廃藩置県を行って中央集権化を進めた
2. 北条義時は承久の乱後に朝廷への統制を強め、豊臣秀吉は兵農分離を進めて社会を安定させた
3. 北条義時は地租改正を行って財政を安定させ、豊臣秀吉は北条氏を滅ぼして鎌倉に幕府を開いた
4. 北条義時は応仁の乱を鎮めて幕府の権威を回復し、豊臣秀吉は刀狩によって自らの軍事力を強化した

問10 奈良時代、中央政府は地方の支配を強化するため、諸国に対してその地域の情報をまとめた報告書を提出させました。各地域の産物、土地の肥沃（ひよく）さ、地名の由来、そして古くから伝わる伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)

1. 日本書紀
2. 万葉集
3. 古事記
4. 風土記

問11 市場経済において、価格と数量の関係を考えます。価格が下がるほど数量が増える需要曲線と、価格が上がるほど数量が増える供給曲線が交差する点よりも、実際の価格が高く設定された場合、市場ではどのような現象が起こりますか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)

1. 生産コストが急激に低下し、供給曲線が左側に移動する。
2. 供給量が需要量を上回り、売れ残りである「超過供給」が発生する。
3. 需要量が供給量を上回り、品不足である「超過需要」が発生する。
4. 消費者の購買意欲がさらに高まり、需要曲線が右側に移動する。

問12 日本の地方自治において、市町村合併や大規模な施設の建設といった地域の将来を左右する重要な案件に対し、有権者である住民が直接その賛否を表明するために行われる制度として、最も適切な名称を答えなさい。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)

1. 事務監査請求
2. 住民監査請求
3. 住民投票
4. 国民審査

答え合わせ・解説

問1	答え 4 高所得者ほど高い税率を課すことで、経済的な格差を是正する垂直的公平が図られた状態	所得税などで採用されている累進課税制度は、個人の「支払能力」に応じて税負担を求める考え方に基づいています。これにより、高所得者にはより重い負担を、低所得者には軽い負担を求めることで所得の再分配を行い、経済的格差を縮小させる「垂直的公平」の実現を目的としています。対照的に、所得に関わらず一律の税率を課す方式では、低所得者ほど負担感が重くなる「逆進性」が生じる懸念があります。
問2	答え 1 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。	小樽は明治から大正にかけて、北海道開拓の玄関口やニシン漁、石炭の積み出し港として急速に発展し、「北のウォール街」と呼ばれるほどの商業都市となりました。現在は当時の石造り倉庫や運河が保存され、重要な観光資産となっています。釧路湿原は開発から免れた貴重な自然として「世界文化遺産」ではなく「国立公園」や「ラムサール条約」による保護の対象となっています。また、釧路付近の気候は稲作には適さず、主に酪農が行われています。
問3	答え 4 北側の酪農・混合農業地帯と、南側の地中海式農業地帯を分ける気候的な障壁となっている。	アルプス山脈は地形的な陰しさだけでなく、気候を区分する壁として機能しています。この山脈が北からの冷たい空気や南からの暖かく乾燥した空気の流れに影響を与えることで、北側の混合農業・酪農地域と、南側の地中海式農業地域という明確な農業区分の違いを生み出しています。ピレネー山脈やアペニン山脈も南欧に位置しますが、ヨーロッパ全体の広範な農業形態を分ける主要な境界としてはアルプス山脈が挙げられます。
問4	答え 3 各議院の総議員の3分の2以上の賛成	憲法は国の最高法規であるため、通常法律案の議決（出席議員の過半数の賛成）よりも厳しい条件が設けられています。衆議院・参議院それぞれにおいて、欠席者も含めた「総議員」の3分の2以上の賛成があって初めて、国会は憲法改正の発議を行うことができます。このように、改正手続きが法律よりも厳格な憲法は硬性憲法と呼ばれます。
問5	答え 1 直接請求権	地方公共団体の運営において、選挙以外で住民が直接的に政治参加する仕組みを直接請求権といいます。これには条例の制定・改廃請求のほか、事務監査請求や、議会の解散請求、首長・議員の解職請求（リコール）などが含まれます。
問6	答え 2 広大な国土に鉄鉱石や原油などの資源が豊富であり、かつ多くの人口が労働力や消費市場となっている。	これらの国々は、ブラジルの鉄鉱石、ロシアの原油や天然ガス、南アフリカの希少金属（レアメタル）といった豊富な資源を輸出することで外貨を獲得してきました。また、中国やインドに代表される巨大な人口は、生産を担う「労働力」であると同時に、所得の向上によって製品を買い支える「巨大な消費市場」としての役割も果たし、経済成長のエンジンとなりました。
問7	答え 2 海外から輸入した原料を国内の技術で製品に加工し、輸出によって高い利益を得ることで、資源の少なさを補う仕組み。	日本は工業に不可欠な資源の多くを輸入に頼らざるを得ない状況にありました。そのため、輸入した「原料」を高度な技術で価値の高い「工業製品」へと作り替え、それを「輸出」して外貨を稼ぐというサイクルが確立されました。この仕組みは、資源が少ない日本が世界有数の工業国へと成長する原動力となりました。現在では、経済のグローバル化に伴い、部品を輸入して組み立てる「水平分業」などの形態も増えています。
問8	答え 3 唐の衰退などを理由に、遣唐使を停止すること	菅原道真は、唐（中国）の政治の乱れや往復の航海の危険性を理由に、遣唐使の派遣を停止するよう建議しました。これが認められて以降、日本独自の気候や風土、日本人の感性に合った「国風文化」が大きく発展することとなりました。
問9	答え 2 北条義時は承久の乱後に朝廷への統制を強め、豊臣秀吉は兵農分離を進めて社会を安定させた	北条義時は、承久の乱で後鳥羽上皇を隠岐へ配流し、朝廷に対する幕府の優位を決定づけました。一方、豊臣秀吉は刀狩や検地を通じて、武士は城下町に住み農民は村に住むという兵農分離を完成させ、近世社会の基礎を築きました。他の選択肢にある応仁の乱や廃藩置県、地租改正は時代背景が異なります。
問10	答え 4 風土記	奈良時代初期の713年、元明天皇の命によって諸国に編纂（へんさん）が命じられました。地方の状況を詳しく把握し、税収や統治に役立てる目的がありました。現在は「出雲国風土記」がほぼ完全な形で残っているほか、数力国の写本が伝わっています。
問11	答え 2 供給量が需要量を上回り、売れ残りである「超過供給」が発生する。	価格が均衡価格（需要量と供給量が一致する価格）よりも高く設定されている場合、生産者はより多くの利益を得ようとして供給量を増やしますが、消費者は高い価格を避けて買い控えるため、需要量は少なくなります。この結果、供給量が需要量を上回る状態となり、市場には「売れ残り」が生じます。この状態を「超過供給」と呼び、その後、価格は売れ残りを解消するために下落へと向かいます。
問12	答え 3 住民投票	地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれ、住民の意思を直接反映させるための仕組みが整っています。その一つが住民投票であり、地域における重要な課題について、住民が直接「賛成」か「反対」かの意思を示すことができます。住民監査請求は地方公共団体の公金の使われ方をチェックする制度であり、国民審査は最高裁判所の裁判官を評価する制度であるため、区別が必要です。